



誹諧入船集
全



見えし山伏後とらまふれ
色のかくは神足ありき
^{コウダイ} 洪ろくろ乃舟人 一領^{ツラウガタイ} 俵
秋よ都よ首出でておふ
東を成人よほきぬ^{ウララ} 瀧
おき葉うじは神風乃月
目と水とつと志ろくを盤
揚ろくを妃の家にもあふふ

助叟
言水
幸依
物叟
言水
物叟
言水



[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, mostly illegible.]

鞆シウ鞆センの戯タシと恋コイの方便テダテ
死シから縁ヰよから何ナニりらん
ほの貝カイの始ハジメをともめを念ネンふ
寺テかしくやうと押オシ取トル寺テ
松マツの多タふれまの音ネ流リウの木キの根ネ
麻マ小コ舎シャともわかず鼻ハナ紙シ
面白オモシロや雨アメの流リウ半ハン祭サイ
脊セ中チュウの身ミ月ツキ了リョウ福フクふふ
物モノ変ヘン 言コト水スイ 物モノ変ヘン 言コト水スイ

水ミヅ夢ユメあそぶとららしシ身ミにニ飛トビて
川カハさしシ衣イ土ツチこゑ 感カン状ザウ
鶏トリの玉タマ子コもてきふとれ
有アるれぬニの欠ケツ 念ネンふ
何ナニもいへぬと海ウミとやいイをシ社シャ衣イ
羨ソウの地チ獄ゲクと回マヒり来キ小コらり
らとわけてゆりユと成ナるル穴アナ母ボ
栄エ螺ラかづク海ウミ士シの呼ヨぶ
言コト水スイ 物モノ変ヘン 言コト水スイ 物モノ変ヘン 言コト水スイ

人丸らぶる志くふしききて 助雙
 兵治て後國二百年 言水
 柱くして死のき州人天津宮 幸依
 やよ時鳥はと申句 助雙
 為髪と葉の如く云く夢 言水
 屠種より屠獲よ 碎れ果る 幸依

韻字諧諧

六月や加らる花に一雪次 眺山
 蠅小蚊をつる教陰法營 幸依
 干綱に陰成幻の基に書て 定之
 役より新諸司の法迎 眺山
 蝕の夜を常らるる 幸依
 軍書よ結成眠る 定之

八二

四

妹よと事のつれと福なり
 ささくに借古厨子黒柵
 年ものもや飯はく柴城より
 穂しぬらつとよごすま 頸
 顔うつてけり小倉れお嵐
 活天神やたむ上郷
 院号や妻浪母の号衣
 付なきくむ目乃 旗
 幸代 定之 幸代 定之 幸代 定之 幸代 定之

指跡をわのきてきく世のまき
 暑氣のころそく人や不平
 ちつちとねれ月夜夫の雷の音
 池に河て流次 筆耕
 色紙又侍さくぬ身代り束
 又小一歩とけむゆ甥
 馬監ちつれさくは入く
 意よりけりくふる若浪枝城
 幸代 定之 幸代 定之 幸代 定之 幸代 定之

かろしきと女あはれ風そ流き来り
恋の根とて川の契流の長明
声あぶくごころ埒の郭公
燈のをとわよひを 櫻
朝はくいとて取とく菜鐙
ぬれはきこく白きか可水清
定之 吟山 幸佐

和漢 雨吟

何れはくはせし秋の地 定之

風 麓 穂 蓼 原 幸佐

通 籠 番 月 夜

擗おしとらりあくくは鐘
酔さぬの水よんは君らりは

堤アヲチ此入橋入日カ成カ為カ了カ見カ之カ

假カリニ設セウケル亭チンラ凉スバニ所シヨ

積ツムニ平ナラス地ラ石シ垣ケン

潜クムル鞞クツツ踏フドヨラ土ケ狗ラ

訕ツル汁アキラ淡フク河トウ豚トウ

東トツテ燭シヨクラ遊ブ夷ヒス講カウ

陽ヤウ了カ之カ了カ之カ了カ之カ了カ之カ

七シ種シュウ了カ之カ了カ之カ了カ之カ了カ之カ

雄ユウ子シ小コ仕シ取ク此コノ了カ之カ了カ之カ了カ之カ了カ之カ

函カン矣ニ了カ之カ了カ之カ了カ之カ了カ之カ了カ之カ

起ヲキテ拏ヒキツル憤フ鼻ド禪シ

世セ了カ之カ了カ之カ了カ之カ了カ之カ了カ之カ

指板入牛此尿バリ了リるルあり

露レ無ク乾カ濕シ谷ト

析ケ若ク竦シ祇レ園ト

為レ釣リ者モ苓ク尅ト

祢レの夢を藤流木日

為レ是レ頭ト了リるル常ク云ハ此レ也

軍をえくは直衣わりの衣

けみ成タ流ル継ル母トつクさキ

持佛の執リるルるルるル月

残レ暑ク汗ニ朝ト裕ト

暴レ風ク汗ニ坊ト祭ト

馬ノ難シ生ニ土ノ佐ニ

八云

鯛ハカナリ可ニ越ニ鳴ニ門ト

夜を傷とて住持を獨陀羅尼を

仲しくふようのりて行

友は日成禱りの素に入果て

蒼ハウツテ登ル小ホ社コラニ鷓ニ

夜アケ明ホ雲ホ若ク

川カ瀬ラ水ク注ク

逝ユク者モノ斯カク飛ト脚ク

老女オメ棧ハ繰ハふハ妻メのノかガげルふ

夕ユフ震シ帔カク鞆ニ韎ダシ

寒サムキ夜ヨ啜スル餛ウ飩ドン

幸イ佐サ之ノ使シのノ童コ大オ懼ラく

幕シの中シにシ條シ系シ

をシ衣シ又シ搦シらシるシをシめシるシ質シらシるシ

戲カユル 健カユ 杖ツユニ 十一元

和二十二句

定之

漢二十二句

幸佐

漢和

兩吟

沈シ 渾コシト 雞カ 子コ 酒シ

幸佐

振シのシ膝シをシ新シけシるシ子シ猫シ

只凡

まシのシ松シをシまシるシ系シにシ地シをシまシるシ

筆ニ 殘ス 國クニ 瀑タケ 僑ヤマトリ

十一

煙リ 織セン 々々 煮カ 賣リ

月 皎カウ 々々 懸カケ 跳ヲドリ

目れれきいぬる秋の果てく

落つてなすけりかゝりセミの蝸

わゝかゝる先住る鳥居れん柱ウ

人病お玉のきりウの 毎ツラ 雲クモ

一方を序山陰のくくや所

同メ 軌アトラ 逐ツラフ 牛ウシ 輶クニ

兀ゴツメ 出ツ 阿ア 房ハウ 梨ボコ

火ヒヤをこれむヒヤの水乃 小コ 陶ドク

饗モテナス 稚ツサ 子ナヒラ 耳アミ 餅

泣ナカシム 發ヤ 婦モノ 枕ツラ 猫ニ

夜長 賡夢 夢

月待 耻謡 謡

鈴虫 和鈴 響

碧魚 不碧 嬌

娘此神 凡の妻を 双調

妻はさし障子小指よきハ付て

中 飯箱

押大人 能仕

はらとちづるらた 妖

待 苗

実 苗

尋ジシ常ビヤウ加カ賀カ竹タケ立タテ

輕ケイ薄ハク券ケン濃ノウ絹キヌ

灸キウ理リ矜ケル名ナ譽ヨ

貝カイらラらラさサらラふフらラりリれレ実ミのノ條ジョウ

うウんンくクとト同ドウ小コ三サン月ゲツれレけケてテえエれレくク

釣テウ扶フ命メイ淡タン鯨クヰ

菜サイ通ツウ無ム節セツ管カン

森シン吹スイ大ダイ平ヘイ簫ソウ

耳ミミ塚ツカ看カン留リウ馬バ

汗アセ手テ拭ヒクのノ干カあアるルふフをヲ 焔カヒ

蹴キックふフ鞠キックはハ裸ハダカをヲ癖クセのノあアるルをヲ

をヲのノまマじジうウ教カウへヘしシゆユのノ飼カイ橋イヌ

之類

廿三

仄アけぬクくまウらラくクとシとシとシとシとシ

後サシ家サシ嗜サシ步シ搖シ

契ハ荅ハ瑩ガカリヲ出シ合ヒ

日ウカ和ウカ歌ウカよウカ毛ウカ乃ウカ板ウカ丸ウカ 柁ウカ

漢二十二句

幸佐

和二十二句

只丸

ゆカらカして大根カ車カ一陽カ月カ 信德

多カふカとカ二カくカくカくカくカくカくカくカくカくカくカ 幸佐

沈カ樓カ臺カ波カふカじカ響カみカみカとカ絶カて 重徳

糸カのカ流カくカのカ壑カ、カ柱カ花カをカり 幸忠

笠カやカみカやカらカ小カ柱カのカ氣カ少カくカき 吟幸

旁カにカ志カめカるカりカ火カ繩カ之カかカり 翁伴

言^ナ 露^ナ 海^ナ よお撲^ナ の吐^ナ 志^ナ り^ナ ぬ^ナ
 山^ナ 入^ナ 小^ナ 花^ナ の^ナ 一^ナ 名^ナ 散^ナ 流^ナ 盤^ナ
 約^ナ り^ナ ぬ^ナ も^ナ 牡丹^ナ の^ナ 志^ナ り^ナ ぬ^ナ
 山^ナ 入^ナ や^ナ い^ナ ち^ナ 長^ナ 花^ナ の^ナ 花^ナ
 山^ナ 入^ナ り^ナ 目^ナ 毎^ナ 日^ナ 志^ナ り^ナ ぬ^ナ
 中^ナ 志^ナ り^ナ ぬ^ナ の^ナ 鳥^ナ の^ナ 志^ナ り^ナ ぬ^ナ
 神^ナ が^ナ び^ナ く^ナ 糸^ナ の^ナ 志^ナ り^ナ ぬ^ナ
 屯^ナ 居^ナ ち^ナ 一^ナ 日^ナ 志^ナ り^ナ ぬ^ナ

幸山
 已子
 如竹
 孤舟
 思水
 不孤
 深谷
 曉山

年^ナ 成^ナ 神^ナ 志^ナ り^ナ ぬ^ナ
 萬^ナ 葉^ナ 浦^ナ 志^ナ り^ナ ぬ^ナ
 か^ナ り^ナ 一^ナ 日^ナ 志^ナ り^ナ ぬ^ナ
 こ^ナ り^ナ 一^ナ 日^ナ 志^ナ り^ナ ぬ^ナ
 わ^ナ ち^ナ 一^ナ 日^ナ 志^ナ り^ナ ぬ^ナ
 指^ナ 鉢^ナ 志^ナ り^ナ ぬ^ナ
 人^ナ 志^ナ り^ナ ぬ^ナ
 乙^ナ の^ナ 志^ナ り^ナ ぬ^ナ

桃
 位
 貴
 産
 幸
 幸
 幸
 幸
 幸山

遠くよめまゝに七つ夕よのさる

己子

やーろけ縁起奉加賜よとよ

如竹

け昔れ津波の記を地と形りて

孤舟

馬バウ杵ウの形ナ小清のこけ

思ふ

心せよ我中さくら分舞舞えさ

不孤

腰ヒ入レ一ハ形ナゆク難ニ浪ナ又

深音

えぬ来世あふもあふぬと梓弓

曉山

森れ霞よのとも来る祢直所

幸休

時トキくよ曉ゆれひり色の

代直

不美ケチれ刑ケチと眉マユ一

鱗ヒナ鱗ヒナ

空煙

去りそくと一年おろけ口懐

幸忠

僧ソウのちをさサをれかカらラ若ニ衆シユ

吹幸

月の夜を思ふせうらうらと

歳信

肩カやヤとトあアんンやヤ夜ヨキキテ

幸山

かきく訪清香のまれ祢雲

己子

らむてらづまう一牛の口花

如竹

新編 十卷 七

賞海をトアとく味淡さ
 孤舟
 いまも程のふかむあつ友
 累木
 凡呂成鏡中る汗氣して
 不孤
 浄瑠璃本に移つて海さし
 深谷
 あつたふ実極れぬあつた
 曉山
 桑谷とみくまれぬ糸の
 幸佐

春 次才不同

初をわこくくうほ生ふ秋
 如泉
 星佛守年拱
 元好
 孝の香や人目さくかしあ人
 方山
 毒うまや君の夜半の片な
 可休
 花の下を舞ふ人かこまら
 徹士
 此良れわもは獲てと志候頼子
 定之

八云 二二二

女房やさくらふり守かこ立

咲山

ちふむよ凡のあく成むし

松春

林の字をたつひに只遠林立七山序

鳥の巢よ枝の束そ林の山

未達

き里れ鼻うりこらん毒の花

一步

白魚のりもこ水れ枝りり浪

全

浪書小うけ暖ねくもる葉や

藝文志
杉江

音の後氣よらん目枝を宕

親切

百敷れくろあたるぬ 露れ

江外志
忠作

永くい日も寫す時鳴るもと

島氏遊作
政長

七粒ら家伝りの程よむがら

良子

一位きりり見えきり毛れ山

仁安八幡
可勝

くら猶れしくや屋縁りら毛のぬ

光寛

叢入 別令色

幸忠

縁とまの葉子がさうすもん

全

まよ者むせもの林楽堂

仁安松平
権政

おろろや腹くわいて山橋

江及山 方至

まのり指くく少かぬき甚い

日本 重祇

毛るやうびごほの行なり

日本 聖毛

碑の地築よどふかたなり

藝及屋傍 里洞

外戚ハダ子ハダ成ハダ名ハダ先ハダ橋ハダ本ハダ

日本 仲品

掃ハダ拵ハダ一ハダ物ハダ所ハダ成ハダえハダ出ハダくハダ寺ハダ

日本 野羊

毛多や西行はくか丸や

勢及日月 毛雨

坐禅堂初く毛ふく毛乃ぬ

日本 正延

毛乃ぬ夫の物賣なるなり

日本 変音

毛賣は身かゝ魚ウナギふや

日本 草也

世を拵て柳を拵ぬいり

日本 吐欠

あそ入口を離よつえ所娘乳

日本 台水

うははま小起ぬもつらん毛たぬ

日本 吹門

毛たぬしクきくかたスアヒ赤スアヒ所スアヒ

日本 全

青柳ハイツモ毎風スカタ質

日本 雄小松

新^{ニキ}聴^ク真^ラ花見

延希府中 榎松

駕籠一里ゆきとく暇もほせり

二巳 榎松 幸流

櫛や蜘蛛ふたふた一宿ふり

吟華 幸流

新れ世や一室こころのなめらふと

吟華 延安

為東に暮らしたくふとこころあふ

付松 延安

衣のむす下ふれえふとこころあふ

延安 慶之

爪あつねえんよれふとこころあふ

慶之 曉山

とまふく寝るまの長所ふ

曉山

顔おろく園小柳もおろく

政要

白魚の味さるうれとこころあふ

楊紫

傾城の珠敷いろのあふ波あふ

祐因

あつたぬ裏あつたうけ干し

浄玉

貝拾ふ時うめとれけ干し

吸流

蛤乃出糸成吐^年け干し

和琴

うらあまし^{日下}佛は遠く木瓜の

曲柳

舟に東武一りる後ふ

舟

山并

二十

春の水杖も尺がも一六井川

和及全并

湖や鳥の寝泊あけくか

助子才

をくけしとくんがま流る

やし呼

但槩像比兵江と魚形さ

幽香

さしとこ小嬢う園のおちる月

紫々

伊勢櫻 眩見

己千

宵不寝花見

紫竹

北野梅芳野

幸作

尺舟もる気んくふむふん

全

梅咲やるれ尖はるかまらぶ小

竹亭

推さしよまもとくくもれ山

長年

投入無ごらとじいても柳うま

七澄

三月月とゆりまらうめらめら柳い

助受

松凡と首のまり呼子鳥

言水

梅ちくいあふはゆん鞠る山

我思

八

二十一

蒲席ホドロとて尻小敷ヒラを敷き芝わらび
立吟立吟

穉世

永年ヨシとて平ヒラ四シ女メの右ミ殘ノ邦ノ
和及

冠カ多タくそソ見ミてキ城シの如ノ
産徳

題出女

二ニ夜ヤ夜ヤぬヌ多タ式シキ極キョクつツこコつツまマ
立志立志

為ナみミぬヌ馬ウマ陽ヨウはハけケのノ小コ山ヤマにニ
行徳

夏

山長サン一ヒト足タラシはハ小コ山ヤマにニ
常牧

明アカ六ムつツやヤ早ハヤしシ女メわワるル子コ海ウミへヘもモ
定之定之

原ハラのノ虫ムシもモうウにニ風カゼをヲ轉マ舟フネのノ
立志立志

荷カらラもモしてシてテぞゾきキふフ葛カのノ根ネ原ハラ子コ
立吟立吟

名ナ成ナリ付ツキくク杜ト丹ニれレ心ココロ志シのノ如ノうウ
如象

又また月ツキ白シロのノ晴ハレきキ水ミヅ比ヒやヤ富トヨ士シ話ワタシ
好老

山

三十一

海カレリ人出シ
 夕の夜のめそ
 桶の輪ハ繩と
 孫の芝や境目
 初らよと春言
 多能小入
 美の海や夜更
 八浪紫々
 可休
 幽香
 孤山
 伏見
 内糸
 全

富士川いま
 都云鳴る
 一物
 勇山

去に戸セリ時

初雪の富士を
 寒くわく暑く
 木更裸
 馬とめぬ
 去りて流
 秋を初
 方至
 正芳
 山
 山
 山
 山

山

三十一

あはたむくはくもこの女の根子も友 幸竹

秋津列と一羽て鳴うりくさ次 吟幸

竹のふとあつとくははあつと 可昌

女之物こくもあつとく哉 可勝

暑きあつとあつとあつとあつと 活水

灌佛よ里ハ海ノ母流慈 忠則

かききんたごおのわさくし時 己子

牡丹畑衣裏おさばと女も 中蜂

妙よへく凡乃色あつとあつと 妙節

葉と欠く菫の花をんふあつと 白木

枯枝と蜂けきけくあつと 守社

山ノ鶺鴒鳴北白 梅丸

鶺鴒鳴てさそ後まきあつと 一步

人合りあつとあつとあつとあつと 九牛

母さうさいあつとあつとあつと 橋言取

武士のあつとあつとあつとあつと 柳江

志しふ人の娘身取らしよ

娘氏のせめて息をうらわしふ

孤舟

小男麻の舌つとま又子南

白金山 子秋

葉の根も物とるまぬ様を

名計

似てまや嘆てかゝるまをわめ

早 多向

大舌やまかりてしつるあつた

秋葉

譽惜鳴初

交才招提 峯昌

まはれぬやまの産むる身取

南田名ア 卜ぬ

舟此程成杜移りたる五月雨

海及四日亭 多也

内井戸小蛙見付し又月の

任取松女 茂付

蚊やうらなから屋並にかる白うら

江及土山 楊葉

世の中よ白魚のさぬとくも床

江及土山 産社

おんらや離と小女の土用干

吐欠

余れ切の更し河らるる月夜

不睡

夕暮や一二九十の時外

不睡

造人の虫干とらん星月夜

鳥玉

三十四

むらり〜と讀合ふ扇の形

越前府中 一畝

庭より石齒より砥清水

大津 五原

洗もじゆふつ〜はまじ〜

和碓

飽て來て戻れ〜川

宮内

傾城や文よ〜物よ

先寛

一杯の息を〜のむ清水

勢及四月 正近

か福振や出て世の蟬は声

幸忠

鳥もに〜此毒の白く

友景

家造も牛も〜ゆりぬか〜

百之

船政の裏も〜

如舟

森引て何〜さん〜

南留 社因

系わら〜早敷や〜

兼房

啼中小敷の巻に〜井島

步雲

物れ出ふ〜

一畝

物ぢ〜の〜

長根 紫

為氣〜は〜

か季

入舟

二十廿

かゝつてや度々ありの五月園

政要

涼 醉 嚼 錢 悔

全

涼 牀 羣 不 黨

已チ

定 旅 祇 園 會

幸忠

ヤスラ殿ハ男カ法跡カト向ハシ

コタヘニイカ、候ラン頭ハニエズト

螢 火 安 良 殿

幸佐

おろし水洞アヒテの川村のゆめ

鱒マスのわす寸ニ籠カもたふ

将得あり駒牽ヒキ法ハと川乃橋 全

夕立の中坊チヨウ風カゼ吹フ白シ 全

いづくはニハ大津オホツは橋ハシ入イり

旅ツよりのもの秋アキをシ暮クとト齒ハきス 全

清スミ園ニ

原ハラこそ秋アキこそ花ハナはハつツり

物更

八云

二十七

見まじく星小初るきり涼の火 好表

あさひやと傍見くらげもれど 千表

ラシゴトアリ 標 礫 青 梅 七 只丸

赤らん花の白さる番椒 晩山

湖や鳥のくさく行早苗 江陰

奥のらん木新黄岩清水 重徳

こせむらひのくさくよ玉巻葛 言

秋

秋のまに見ふ朝此茅の穽 只丸

カシラ カサハ 頭 童 僧 省 躍 吹山

仔勢乃神法系

朝目執念まん吐くぬれ美哉 可休

稲の毛吸ふ成蝶の舞 之水

かすけく白くといふ玉 也呼

朝歌と秋遊にうゝのむらう

鍾原房中
清玉

松林の者鳥かき人高焼乾

藤原房中
野羊

七夕よんうこぬ人の形

藤原房中
若水

又月七は身まじし人の道言

行雲の来はたまわら浮世

長松中
権雨

く移りやうはし白く女ら花

為吉

舌赤やあらしこぬさうはる水

深首

寝覚りり蚊や志まふ長た巻

團山

芭蕉花ふて糸一倍のわら

自閑

まふれしりり口のふたを瓜

政要

某、在、斯、相、撲

如行

扱もこく社の土見らるお撲

勢易冒市
二已

くふ若くよ玉章心とぶさなり

梨全并
曲柳

とんとて凡はふ林は橋

業名

叩、兩、端、綾、卷

幸忠

常小え女れわらるらま

南田名ア
忠則

八一朔 羞明躍

巳午

蘭舟を妹侍育れよと也

鳴下声よのきりて夜ふれ出

つよつよおしこむわつこし

負お撲もあまふゆめいん

衣張や妹又世結や菊白

線笑々足折所の秋の音

抱見せし子れおわさるる也

二十九

白鳥山

舞臺

目下

正

全

方至

仲品

淋々々凡飲新海秋の音

猿人よ声る凡く陽そ秋の猿

浅茅生や算の宵は秋の楮

見とりて月あはるぬ御水

それくは風吹かすを中

走山を鳴らるるを麻代

見て梅もさるるを以て

名月の影さるる星小

全

日可

日可

日可

日可

日可

日可

日可

をくわ風のうそつゝさむいふ 飯多 不及

麻の香に響の枕さけけり やモナ 富貴は作

粟刈実の中一粟尻丸のり 此寺 政長

木犀の香いさゝくははるる 此寺 梅丸

朱雀也此粟山子にむらぬ流る 光寛

八月やちうこふりゆる増成 南無田名 由毒

咲初てちうめううと鶏頭花 此寺 赤言

おいて有菊さうさぬ比豆寺 日本 官内

名一月哉 ホルハ 褒管 クダ 石水 南無田名

須磨復磨月 ミカク 吟幸

かきこももさるの位々系八月 口文

阿まももやうさく先合会結完 不融

地管くおとと淋し林の色 幸山

柴刈よ化野のさびしと胡狼家 信之助 権助

さわはらうさくもあまもも林の香 日本 一步

鳥の多さうさぬ榎の葉の葉 此寺 名并

高栗よ松中らさきる後えん
延安

此とていさく人知りまふ
正真

松茸や先鼻てんく人のら
茶蔭

半一月天孫櫛
幸休

幽君くか人若根流の転言
全

朝顔の折角暁て浮せ
常夜

言水同船也

目撃員にゆゑなりや
定之

其土 其 松 茸 架

本田地達てん脚と葉山子
長澄

氣の毒い恋とる人の月夜
立吟

永善代わさくさく
重徳

細長い海の色をり秋
物変

一云
三十一

冬

集ふふりよ菊とさきく梅とのそく
例あもしくも田舎に夫深あさ
やふりり入船の百挺多てお
うづつい出まらるる書影よ心ゆり
て情のうつろくく入船は
こゝろやその身秘てあ出れつら
我黒

鳥は木の尾端よ何ふ覧哉 冬
鶴や教し隠りまれさ返 冬
山嵐よせり海もておん土筆 冬
淡路島の松栂くふまきて 冬
さうりもせて衝かよも朝に松 冬
昔も境界在 冬
鳥の衣や寝ころびて 冬
何もうんまの見人の時人ら 冬

八云

木枯川をらう松栢よ神をん

湯

覓モトム寒梅ウメ口切

幸依

とほつをえらう生海ナマ氣キをカるル年トシ

全

木枯や野のふねらう流の橋

梅丸

風やうらうらきうんカウホ陽鳴ヨウネ

幸忠

風を梅おほくまぬわしや

清兮

木枯と岩れうらうらサケ割

幽香

誰カ實ニニトヨリ誓言チカガヒ文フミ拂

吟幸

社只弥ミ寒サバシ十夜

口文

茶の花や蝶ハナバチ本ぬ目メのらうさぎ

油笛

一時トキぬわらう色イロ野ノ良ヨシわらワラ木キ履ズミ

棠花

題チ五常ゴジョウ不フ分ブン未ミ子シ混雜コンザク

仁

眩ヒナタり人ヒトうらうらウラウラめメ頭カビ巾ツバ巾ツバ

里洞

義

鹿カ乃ノ角カド乃ノくク藪ヤブ向ムカ多タりリ田タんン境ケイ

全

継母乃教のそんざりそ八月 俗名 漢月

意のぬきぬきこれ風情なり 美列

物もつらふらふとあるまじき雲 勢利小松 江利山

時宗一店同よ水はくそをト 定業

きくそも真つらふらふ 榎水

所も小極ら淋しむ 日可 清分

櫻や半凍づくけしき乃 江利山 正芳

江崎のいそげめを野々 伏之 時宗

従子もあがり一寺は神を月 行加松 全

瓶戸川をり水は少く 勢利 正延

父母の氣のけく比や蠅 正延

わき寺に佛き 全

玉磨石 日可 意同

如反 和列 今井

風領綿巡 全

童舞庭初雪 幸忠

神志よ氣の耗ゆゆ海の上 塵

神志を^二振^一すしと^三息^四を^五み^六ら^七り^八り 鳥成社作 勝茂

初志を^二り^一ど^二り^三に^四抽^五く^六神^七心 鳥成社作 政長

志を^二ふ^一行^二く^三や^四う^五か^六を^七新^八め^九さ^{一〇} 己子

素心若も少く^二し^三物^四を^五こ^六り^七炭 美志

寒も^二も^一や^二白^三い^四ら^五氷^六ぬ^七と^八野^九の^{一〇}園 雪山

富士の^二志^一を^二や^三ら^四似^五紙^六を^七つ^八も^九似 鳥成社作 可掃

帆柱よ^二鳥^一一^二羽^三よ^四志^五を^六浪^七の^八胡 鳥成社作 守社

^下か^くく^く 崔志と^二人^一志^二を^三浪^四の^五内 鳥成社作 梨子

胡志を^二又^一思^二つ^三つ^四と^五々^六松^七乃^八志^九を^{一〇}人^一 鳥成社作 芝好

神志を^二空^一

志を^二わ^一ば^二神^三志^四よ^五本^六毒^七わ^八ら^九方^{一〇}計 鳥成社作 御鏡

志を^二え^一る^二く^三く^四く^五く^六く^七く^八く^九く^{一〇}く^一 鳥成社作 長春

掃^二り^一や^二雀^三舞^四来^五ら^六志^七の^八胡 鳥成社作 若水

鉢を^二身^一ま^二き^三一^四夜^五く^六小^七声^八を^九し 鳥成社作 若昌

鏡を^二げ^一て^二か^三く^四く^五く^六く^七く^八く^九く^{一〇} 鳥成社作 野羊

鳥成社作
鳥成社作
鳥成社作
鳥成社作
鳥成社作
鳥成社作
鳥成社作
鳥成社作
鳥成社作
鳥成社作

三十一

三十一

不の男くくくくくぬ煉拂

日下 延喜

本指見んぬ車れ煉くくく

日下 柳江

渡くくくくくくくくくく

加作

わくくくくくくくくくく

延安

わくくくくくくくくくく

有室

冬 穴 住 炭 灼

定之

くくくくくくくくくく

雙

病くくくくくくくくくく

言水

いそかーや仲きもきくくくく
くくくくくくくくくく
却ゆきよよりくくくく

春燈
子春
似松

京寺町二條上丁

井筒屋庄兵衛板行

入江

漢和式

- 一 第唱句之夏
- 二 二四不同之夏
- 三 四仄一平之夏
- 四 避下三連夏
- 五 平仄起之夏
- 六 漢和一座法或之夏
- 七 對句之次第

- 八 假名書之夏
- 九 連綿字之夏
- 十 二物之夏
- 十一 三物之夏
- 十二 底返之夏
- 十三 采引之夏
- 十四 文字通用

漢和式

一 第唱句之夏

第唱句ミウク發句之出來時其内ノ平字ヲ除キテ
脇ノ句ノ韻字ヲ定ルナリ壁言ハ

吟有鄰花見

此句内鄰ノ字ハ真諷臻ノ韻ノ平字也。花ノ
字ハ麻ノ韻ノ平字也。此ニツノ平字ヲ除キテ
何レノ韻ニテモ脇ノ句ノ韻字ヲ定ルナリ但
真句ニハ入韻字ト云夏アトモ。誹諧ニ於テハ

シ井テ其カ一ヒナシ

二 二四不同之夏

●○●○●○●○ 每句二下。四トテ。不同ニスルナリ

如此二字目仄字ナシハ四字目平字ニスルナリ

是ハ平字ニテモ。仄字ニテモ。兩韻字ニテモ。凡シカラズ

●○●○●○●○ 如此ニナリトモスルナリ

○●○●○●○● 如此二字目ト四字目ト同シヤウニス

○●○●○●○● ルヲ嫌フナリ

三 四仄一平之夏

上ノ句 ●●●○ 是ニ四不同ナシ。仄。四字。仄字ニテ。平字ハ一字ニテアリ

下ノ句 ○○○● 是又四字平ニシテ一字仄字アリキコトシ

但シ秀逸ノ句カ又ハ古語古事ヲヨク用課

夕凡句ナシハ百韻三取ハ免ス夏ナリ

四 避下三連夏

上ノ句 ○○○● 是ニ四不同ナシ。仄。仄字ニテ。下三連ト云テ嫌フ

下ノ句 ●●○○ 是モ下ハ平字三字ツクニニアシ

五 平仄起之事 二字目ヲ起ト云リ

上ノ句 ○●○○ 是平起ナリ此對句ハ仄

ツイ ○^{仄起} ○^{平起} ○^{起ニスル也} 又此次ニ上ノ句
 上句 ○^{仄起} ○^{平起} ● ○^{付ル時ハ同ク仄起ニスル也}
 ツイ ● ○^{平起} ● ○ ○ 又此對句ハ平起ニスル也

兔角上ノ句ト下ノ句ナラフ時ハ起ヲ子ガヘテ
 ヨシ。下ノ句ト上ノ句並時ハ同シ起ニスル也

六 漢味一座法式之夏

面八句ノ内。漢四句。和四句也。面ノ内對一所
 アルベシ。名殘ノ裏ニハ對ナクテモ不苦
 漢和ノ時ハ面ノ八句目和ナリ。和漢トキハ

八句目漢也。上ケ句モ如此

面八句ノ内朱引ノ句可禁 朱引ノ夏 但し第
 貞ニ委載之

唱句ハ各別ノ夏也

百句ノ内。漢五十句。和五十句也。乍去漢ニテ
 モ和ニテモ二三句ノ多クハ不苦

花四本ノ内漢ニ二句和ニ二句

月和漢氏ニ三句。五句續テモ不苦

季五ツ漢ニテモ和ニテモ。五ツチガラモスルナリ
 ニ句アル物ハ兩方ヘ一句宛取ル。其外異名ニ

テ出ルハ。和漢出ガチニ一旬アルベシ
五句去三句去ノ物ハ。未^{イダ}韻字ニラズトイフ
氏ツカフベシ。尤^{トヤケ}キ物ハ不可^{ツカフ}遣

此集^{シウ}和漢ノ卷。元^{ゲン}兔^{ユン}痕^{ゴン}ノ韻。第三ニ

通^{ツウ}籠^{カゴ}番^{イサム}月^{ツキ}夜^ヤ

番ノ字。元^{ゲン}兔^{ユン}痕^{ゴン}ニテハ。音^{オン}バン。訓^{クニ}カハル
カサナルトヨムナリ。イサムトヨム時ハ。歌^{ウタ}
韻ニテ音^{オン}ハ也。元^{ゲン}魂^{コン}痕^{ゴン}ノ韻ニナラズ。ツカ
テ不^フ苦

韻外字ハ。三ノ裏ヨリツカフテモ不^フ苦

漢句和句氏ニ五句迄ツヅクベシ。但シ漢ノ句
對^{タイ}ニ至テハ六句續テ不^フ苦。和ノ句ハ五句ヲ
限^{カキ}リトス

夢想ノ漢ナラハ付句モ漢ニスベシ。七言ノ
文句ナラハ七言ノ對ニスベシ。其以下ハ五言
ニシテモ不^フ苦。此外^{サシ}差合法度常ノ誹諧
同前^{ドウゼン}ニ

疊^{テウ}字^ジハ。躡^{テウ}字^ジノ一^{イチ}座^サニ八句迄不^フ苦。故^{カク}ニ同^{ドウ}シ面

ヲ嫌フ。上中下ト置取ヲモカユベシ
假名書ハ一座一取ナリ

漢和ノ法ハ發端ニイフゴトク。第唱句ノ内
ノ平字ノ韻ヲノゾキテ。外ノ韻ニテ
脇ノ句ノ井ン字ヲ定ル也

和漢ハ和ノ句ニ韻字ヲフミズ。是モ和ノ發句
ノ内ノ平字ヲ除テ。脇ノ句ノ韻字ヲ定ル
ナリ。尤漢ノ方ニハ韻字ヲスユルナリ

辭韻ハ韻字誹
諧ノ夏
常ノ誹諧ニ。下ノ句毎ニ韻

字ヲ居ル也。尤是モ發句ノ内ノ平字ヲ除
キテ。脇ノ韻ヲ定ルナリ。此外別儀ナシ

七 對句之次第

凡十二門ノ内。乾坤ト時侯ト對ニシ。器賤
ト食服トヲ對ニ用ヒ。態藝ト虛押モ一ツ

用ユ

但シ態藝ノ中ニ。輕シテ虛押ニ似タル
字アリ。又虛押ノ中ニ。強シテ態藝ニ似
字アリ。是ヲ見合セテ對スベシ

人倫ノ字ハ。氣形門ノ内ニ有トイヘトモ。別ニ
擇出シ用ヘシ。虫魚鳥獸等ノ生類ト人倫トヲ

努々對ニスベカラス

合掌對トテ惡キ有。是ハ兩ノキヲ合セタル

ヤウニ。付過タルヲ嫌ヘ。タトヘバ天ニ地。有ニ

毎。寒ニ暖。長ニ短。大ニ小。善ニ惡。如此ノ類ナリ

或人曰。合掌對ハイカヤウノ物ゾ。其作意

ヲ聞シ。答テ。并集大漢夏ノ第唱句ニ

奪鱸朱茄汁 是ニ合掌ツイレテ

増 鯖 青 蓼 饅

唱句ノ意ハ。論語陽化見篇ニ。惡紫之奪

朱也ト云。語ニスガリテ作レリ。俗ニ朱鱸

ト云テ。切口ノ赤キアリ。茄ノ色ヲ以テ紫

ヲ持セタリ。對ノ句ハ。鯖ヲ青鯖トイヘリ。

蓼ニテ饅アヘニセシカバ。青サシマニタル

ナリ。サシバカヤウニ魚ニ魚。色字ト色字

食類ト。食類。五ノ指ヲ合セタルガゴト

シ。又右ノ唱句ニ。合掌ニナラザルツイ。タ

トヘバ

畏^{ツム} 螢^{カガ} 光^ラ 草^カ 籠^{カゴ}

此句。魚ニ虫。朱ト光。汁ハ食物。籠ハ器
戔也。カヤウニアリタキナリ。此句勝シタ
ルニ非ザレ氏。初心ノタメニ句ヲ作り侍リヌ
。五字ノ内ニ字程ハ不付トモ。一句ノ仕立ヨ
キラ本トスヘシ。シカレドモ。一句サヘヨクハ合掌
對トイフ難ハ有ヘカラズ
ハ 假^カ名^ナ書^シ之^シ事^ト

中華^{チウワ}ノ張^{チウ}九^{キウ}成^{セイ}日本^{ニッポン}ハろ^ハは^ハノ假^カ名^ナヲ。書^シ史^シ會^{カイ}
要^{ヨウ}ニ載^{サイ}タリ。故^コニ往^ウ古^コヨリ用^{ヨウ}ニ來^{ライ}シリ。對^{タイ}句^ク
ニモ多^タシ。譬^{ヘイ}言^{ゴン}ハ月^{ツキ}ヲつ^ツき。山^{ヤマ}ヲや^ヤま。色^{イロ}ヲいろ
ト書^シ類^{レイ}ナリ。真^{マコト}句^クサヘ如^{コト}此^{コト}。况^{ナニ}ヤ誹^ヒ諧^イニ用^{ヨウ}ニ
ガランヤ。一^{ヒト}負^ネ有^{アル}テ面^{オモテ}白^シシ

大湊ニ

辻^{ツジ}堂^{ドウ} 白^シ壁^{カキ} 彬^{ハヤシ}

…まゝと茂助

テンマ 宗因

過堂ノ白壁ニタラニ分禿タルニ巡禮ニシテナドノ落書
シタル句作ナリ。ソレニ斤假名ニテ對セ
シ。是誹諧ノ一體ナリ

九 連綿字之夏

聯綿字ハ冠カ。篇カ。作カ。下カノ同ジキ
ヲイヘリ。タトヘバ

乾坤ニテハ

宇宙ニテハ。磨廩ニテハ。砥場ニテハ。罔周ニテハ。朦朧ニテハ
氣形ニテハ

麒麟ニテハ。鳳凰ニテハ。蛤蜊ニテハ。鴛鴦ニテハ。猿猴ニテハ

支躰ニテハ

肺脾ニテハ。鬚鬢ニテハ。觸躰ニテハ。肝膽ニテハ。眼膜ニテハ

態藝ニテハ

齟齬ニテハ。婀娜ニテハ。蹂躪ニテハ。慇懃ニテハ。徘徊ニテハ

生植ニテハ

梧桐ニテハ。芙蓉ニテハ。枇杷ニテハ。菖蒲ニテハ。蒲萄ニテハ

食服ニテハ

杷ニテハ。樸ニテハ。襦ニテハ。襜ニテハ。袷ニテハ。紗ニテハ。醴ニテハ。酪ニテハ。饍ニテハ。饗ニテハ

器敗ニテハ

琴瑟キンス。絃シツ。編テイ。緇タウ。幣ヘイ。帛ク。柄ヒ。杓ウ。籊キヨ。篠シヨ。簾タカ。條シロ

右連綿字ハ連綿字ニテ對スベシ。此類多シ

大槩ヲ上ル者ナリ

十 二物之夏

是ハ別ナル物ヲニツヨセテ連屬スルヲ云

リ聲ハ

乾坤ニテハ

星霜 雨露 山林 陰陽 春秋

氣形ニテハ

龜鶴 犬鷄 龍虎 狐狸 燕鶯キヲウ

支躰ニテハ

容顏 頭頂 眉目 心肝 手足

態勢ニテハ

往還 將來 邪正 縱橫 得失

生植ニテハ

松菊 蘭蕙 榛栗 桃李 梅竹

食服ニテハ

酒茶

綾羅

酒肉

錦繡

檮核

器賊ニテハ

金銀

甲冑

弓矢

刀杖

筆硯

此外何程モ有ベシ大畧爰ニ載ス

十一 三ツ物之支

貪^{オン}眞^{ジン}癡^チ

儒教道

過現來

身中意

天地人

智仁勇

カヤウノ對アマタ有ベシ

十二 底返リ之支

底ガヘリト云ハ。讀下ス表ニテハカヘラズレテ。

下心ハカヘル也タトヘ

枕^{ケイ}目^コ古^コ

莖^{キン}學^{ガク}

蒲池^{シナ}

納涼^{ドウリョウ}

無^ム

看^{カン}經^{キン}

カヤウノ類也。如^ニ此^ノ十^ノル^ノ句^ノニ^ハ同^シク^シ底^ノカ^ヘリ

ノ字ニテ對スベシ。ツイ句訓ニテ付ル古ハ

アリ。又唱句返リテヨミタルニ底ガヘリニ

テ對スルハ可也。此字之類數多有ベシ。總

ニ其一ニヲ舉ル而已

十三 朱引之事

朱引スルハ。人ノ名。所ノ名。書物ノ名。年号
。官位是等也。人ノ名ニハ人ノ名。國ノ名ニハ
國ノ名。ツレノニ對スヘシ。平仄サヘ合ハレ
井テ字對ニ拘ハルベカラズ。尤^{トモ}字對ヨク
ハ猶以可也。人ノ名タトヘバ

○山谷是二字トモニ□黑主 黒ト赤ハ光彩

○東坡 乾坤門也□赤人 主ト人ハ氣形

右八字對ヨク叶ヒ上品ノ句也

△子路 路ト淵トハ乾坤ニテ對スレトモ。子ハ氣

△顏淵 形門。顏ハ支駟門ニテ此二字ツイセズ。
シカシ氏。朱引ナル故ツイスル也。時政ニ頼朝

トドノ類モ是ニテ知ルベシ。但唐人ノ名ト
日本人ノ名ト對スベカラズ。或山谷ニ道風

四字氏ニ乾坤門ニテ。字ハヨク對スレトモ
山谷ハ唐人。道風ハ日本人。如此ノ類努々對

スヘカラズ。名取。年号等モ同并 所ノ名ニ
ハ。上野ニ近江。松島ト篠原。コレラ字對シテ

上品也。又鞍馬ニ高雄。三室ト八幡トハ字ハ

ハム
トモ

對セサレトモ朱引故ツイニ若カラス

朱引狂歌

右所中ハ人ノ名左ヲハ官朱引兼テ知レシ
ニツ引中ノ朱引ノ物本左ニツハ年号ゾカシ

十四 文字用様之度

譬ハ(香)ノ字カウバシトヨム意ナシハ生植ニトル。
香具ノ心ニ用ル時ハ器賊ニナルナリ。(芳)ノ
字。カウバシトヨムハ虚押ニシテ。ホウト
音ニ用ユシハ花ノ心アリリテ生植ニナル

へレ(枯)カル、トヨムナシハ虚押ニモナルナリ。
音ニ用ル時ハ生植ニナル。茂秀 蕪ノ
字ノ類モ同前。(潤)音ニ用シハウルホヒノ
意ニテ乾坤ニモナル閑。寂。幽ノ字モ
然也。(詩)ノ字。詩ヲ作ル心ナシハ詞ノ字ナ
リ。詩文。詩書ノ意ニ用テハ器賊ニモナ
ル。文。書。章ノ字モ同意。(桐)此字キリ
トヨムテハ生植也。コト、ヨミテハ器賊也
梧ノ字モ同前 琴ニナルナリ 此外ノ説コノ次

載儿

乾坤十氣形ト通用ノ字

日月星虹霓雷

乾坤ト器賤通用

軒扉門戶梯瓦甍椽碑牀

石灰炭楯棚

乾坤ト支躰ト通ノ字

趾牙氣夢角

乾坤ト光彩

日月星電露煙煤

乾坤ト態藝ト用字

夢中封居處虛空渡泥堆

載代遠近上下内外前後

表裏

乾坤ト生植ト通用

林苑木林節

氣形ト態藝ト通字

雄漁樵牧

氣形卜支躰二用字

羽翼鱗翰八子角毛

氣形卜光彩二通用

日月星鳥黑心兔白心鷺日上螢

氣形卜器賊二通用

貝蠟鷓

氣形卜人倫二通用

雄漁鰥獨孤

人倫卜熊藝二通用

